

ものづくり補助事業成果事例

プレス機等自動化設備の導入による
「高級極薄置き畳」の試作開発事業

ものづくり補助事業を活用して、畳製造の熱圧着機や畳表の染土クリーナー、コンピューター式畳裁断機など、自動化設備を導入し、新しい需要が見込まれる『高級極薄置き畳』の試作や開発を目指しました。

事業取り組みの経緯

高級極薄置き畳の開発のきっかけは、住環境や居住者の嗜好の変化です。フローリングの部屋が増えて畳需要は以前に比べて減少していましたが、最近、古民家ブームや日本家屋のリノベーションなどから和の空間やテイストが見直され、フローリングに畳を敷きたいという需要が増えてきたという背景があります。通常の畳は50～60ミリメートルの厚みがあり、普通に床に置くと見た目違和感を感じ、つまずく危険さえ出てきます。

そこで当社は、フローリング用置き畳として違和感が少ない、厚さ10～15ミリメートルの極薄畳の開発と製造、販売に取り組みました。



畳表の染土クリーナー

実施内容

通常の畳は、表側のたるみをなくすために引っ張って縫い付ける加工を行います。ところが、厚さ10～15ミリメートルの極薄畳は畳本体の重量が足りないため表側を引っ張ると曲がってしまいます。最適な方法は木製ボードに貼り付けて、たるみを防ぐ方法です。しかも極薄とはいえ、畳が持つ適度な柔らかさも求められます。こうした高級極薄畳の要件を満たすため熱圧着機を導入しました。極薄でありながら弾力を持たせるために、柔道用青畳のクッション材と木製ボードを活用して製造しています。

事業取り組みの成果

導入した設備により、高級極薄畳の製品化の実現だけでなく、通常の畳も含めて生産性が向上しました。コン



補助金活用のポイント！

熊本城本丸御殿が建築されたときは、専用の畳を製造しました。また、熊本地震の際には、被災者の仮設住宅向けに畳約2000枚を提供しました。



ピューター式裁断機による裁断で、畳寸法のくずれがなくなり、畳全体の加工精度が向上しました。高級極薄畳は、ネットや展示会で反響が大きく、新しい取引先も見付き、熊本県産のい草を原材料に加工していることを知った本物志向の顧客のニーズが高まっています。県外にも取引先が拡大し、新規取扱店は10件増加しました。



コンピューター式畳裁断機

求める事業パートナー及び支援策

極薄畳は、新しい通販業者の通販サイトなどを通じて海外も含めた取引を検討しています。海外の富裕層の間では和室ブームがあるそうです。最近も、リフォーム会社を立ちあげたというフィリピンのインテリアコーディネーターが、モデルルーム用の畳に極薄畳12枚を購入されました。地元の建具業者や茶道関連の仲間とコラボレーションして海外に日本文化を紹介、展開する販売事業を検討しています。

海外での展示会が実現した際には、自治体や金融機関に、資金面などバックアップをお願いしたいと考えます。

昨年、介護用畳「超衝撃緩和畳」の販売を始めました。
1メートルの高さから卵を落としても割れない畳です。
高齢者や障害者の施設での利用をお勧めします。

COMPANY PROFILE

株式会社 倉崎

代表者名 代表取締役 倉崎 勝也
創業年月 1887年
所在地 〒860-0852
熊本県熊本市中央区薬園町6-14
TEL 096-343-3333
FAX 096-343-6777
URL <http://www.kurasaki-tatami.co.jp/>
資本金額 1000万円
従業員数 3人
業種 畳、襖（ふすま）製造業

代表取締役
倉崎 勝也さん

高級極薄置き畳製作に力を発揮する熱圧着機（プレス機）